



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



健康診断例会 が実施されました

4月22日(水) 於：ふれあいの郷生石研修センター



本誌は、職場や家庭に持ち帰って、皆さんで一緒にお読み下さい。

春の褒章受章者が発表されました!

栗原康高会員 黄綬褒章おめでとうございます



- ・(株)籠谷代表取締役会長
- ・県鶏卵生産出荷 農業協同組合代表理事組合長
- ・全国鶏卵販売農業協同組合連合会代表理事副会長

(4月30日10時に本社へお伺いして、喜びのお声を聞いて参りました)

受章を知らされたときのお気持ち

「こんなたいしたものを頂いていいのかな」

何が評価されたと思われませんか

48年間この道一筋で努力を重ねてきたこと。

受章までどんなご苦労・努力を続けてこられましたか

問題がおきるとよぉーほっとかん性格の為、鳥インフルエンザ問題、飼料高騰という難問を抱えたときも自分たちが解決しないといけない・補助金よりも安心安全の確定がしたいという思いで、国と県と協議して奔走し、対策を思考しました。

その為、東京へは何度も足を運びます。

そして「安全・安心の卵」を指向し、06年に食品衛生管理プログラム認定制度(県版ハサップ)認定第1号になりました。

又、兵庫県が安心・安全及び個性・特長を確認して認証し、
地産地消（県産県消）に資することを目的とした、
ひょうご食品認証制度の認証を取得しました。



座右の銘

「疾風に勁草を知る」

- ・ 疾風とは急に吹く強い風の事です。
勁草とは強い草の事です。
- ・ 強風が吹くことで、本当に強い草を知る事ができる。
- ・ 逆境に立たされた時に、初めてその人の意志の強さがわかるという事。

今後の目標

今年66才ですが、健康でまだまだ業界貢献をしていきたい。
次世代の為に有能な人材を育て事業をスムーズにバトンタッチしていきたい。

受章して家族の反応

孫が「おじいちゃんエライ！」と言ってくれました。



Secretary

幹事報告

第35回 通算1399回

1. 回覧その他

国際ロータリー第2680地区宮本ガバナーより拉致被害者家族連絡会支援のお願いが届いております。

5月よりロータリーレートが1ドル=98円になります。

赤十字より4月17日の献血の速報が届いております。

受付者数 178名

献血者数 141名

200ml献血 24名

400ml献血 117名

高砂市吹奏楽団よりチャリティーコンサートのご案内が届いております。



Donation

ニコニコ報告

岡本 崇司・鹿間 行雄・嶋谷 拓雄

菱田 克己・田水 敬雄・柿木 國夫

亀本 泰司・藤本 明久・田中 浩行

佐野 栄作・大森 千里・大橋 卓司

健康診断例会 ご苦労様です。



例会記録 2009. 4. 22 (水) 通算1477回

来訪ロータリー アン報告 桂田 重信 様(高砂R.C.) 赤穂 哲 様(姫路南R.C.)
大西 達之 様(姫路南R.C.) 石田 康世 様(姫路南R.C.)
塩澤 功 様(姫路R.C.) 高澤 龍一 様(姫路東R.C.)

出席報告 4月8日 会員数 52名 欠席者 4名 出席率 91.67% <修正による>
(この内出席免除者10名)

4月22日 会員数 52名 欠席者 15名 出席率 67.39%
(この内出席免除者10名)

Neighbor-club
information

近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日時・場所
姫路中央ロータリークラブ	献血例会	5/14(木)
"	姫路ロータリークラブとの交流例会	5/28(木)
明石北ロータリークラブ	休会(定款第6条第1節cによる)	6/23(火)
"	最終例会 移動例会	6/30(火) 6/25(木)

TV ASAHI 系列

賢者の選択

内コーナー

BIZ ALIVE

にて

なんと!!

高菱が紹介されます!!

5/

9 土

10:00~10:55
BS朝日

10 日

12:00~12:55
日経CNBC

11 月

22:00~22:55
サンテレビ

再放送
16 土
25:00~25:55

地上波・BS・CS
の3波にて全国放送!!

お見逃しなく!!!

『賢者の選択』オフィシャルサイト → <http://www.kenja.jp>

プログラム予定

5月13日(水)	5月20日(水)	5月27日(水)	6月3日(水)
健康診断結果報告	新旧合同委員会 (引継例会)	クラブ協議会 (新委員会協議会)	各委員会報告

聖徳太子（しょうとくたいし）

聖徳太子といえば、まず頭に浮かぶのは何か。「お札」と答える人が多いのではないか。昭和5年の百円札を皮切りに、昭和25年の千円札、同32年の5千円札、同33年の1万円札など、その肖像画が採用された回数は計7回。もちろん“最多登板”である。聖徳太子イコールお札のイメージが強いのは当然かもしれない。

播磨との関わりは、加古川市の鶴林寺と揖保郡太子町の斑鳩寺にある。鶴林寺は飛鳥時代の崇峻天皇2（589）年、太子が仏教を広めるためブレーンの秦河勝に命じて創建したといわれている。「播磨の法隆寺」と呼ばれ、鶴林寺美術館には太子ゆかりの絵画を始め彫刻、工芸など国、県、市指定の多くの文化財が所蔵されていることで有名だ。



推古14（606）年には、太子が仏典の布教に功績を残したことが推古天皇から高く評価され、その褒美として播磨の国揖保郡の水田360町を寄進された。太子はその地を「斑鳩荘」と名付け、伽藍を建てた。これが斑鳩寺の始まりといわれている。

斑鳩寺は、法隆寺の別院として千年近く栄えたが天文10（1541）年、赤松・山名の争乱に巻き込まれ焼失。その後、昌仙法師らによって再建された。

太子は西暦574年、用明天皇の第二子として生まれた。幼名は厩戸豊聡耳皇子（うまやどとよとみみおうじ）。「厩戸皇子（うまやどのおうじ）」と呼ばれていた。当時は奈良県の明日香村に朝廷が置かれ、政治の中心地となっていた。

太子が摂政になったのは西暦593年、19歳の時だった。摂政とは天皇に代わって政治を行う者のことである。第33代の推古天皇は日本で初の女帝。即位するとすぐ自分の娘婿で、甥でもある太子に政治を任せた。

摂政の座に着き、太子がまず取り組んだのは中央集権化と官司制の基礎作り。力を持った豪族が頂点争いをして政治を担うのではなく、宮家を頂点として政治をまとめていくことだった。その実現へ、官僚の序列表示の「冠位十二階」と「十七条憲法」を制定。西暦607年には小野妹子を遣隋使として派遣するなど外交手腕も発揮している。

（主な参考文献＝神戸新聞社・編「播磨ゆかりの50人」神戸新聞総合出版センター）